

既治療後の 非小細胞肺癌における Weekly nab-PTX 療法について

スケジュール

Nab-PTX(アブラキサン®) 100mg/m² d.i.v. day1,8,15

21 日毎

支持療法として

Day1:注射デキサメタゾン

ガイドライン上の扱い

記載なし

治療効果

プラチナ併用療法後の進行 非小細胞肺癌患者での

Weekly nab-PTX 単独の有効性と安全性をみた第II相試験 (KTOSG1301 試験)

N=41

PFS(無増悪生存期間)中央値 4.9 ヶ月

OS(全生存期間)中央値 13.0 ヶ月

副作用%(Grade3 以上)

治療継続できたクール数中央値 4 クール

Dose intensity 中央値 89.1mg/m²/week

*dose intensity:単位期間あたりの投与量

好中球減少(19.5%) 白血球減少(17.1%)で発熱性好中球減少症はみられなかった。

Grade3 以上の非血液毒性の発現頻度は 5%未満

備考

- ・通常、骨髄抑制がある weekly のレジメンでは 14 日の休薬を設けるが、このレジメンにはないため、骨髄抑制がみられた時点で、休薬がはいる
- ・Nab-PTX について
 - ・末梢神経障害 全 Grade 85.3% Grade3 以上 11.8%(国内 J-0107 試験)
発現までの期間中央値 44 日 最高 Grade までの期間中央値 73 日
対処法は確立したものがないため、投与量の減量、延期、対処療法薬の使用
 - ・骨髄抑制 用量制限毒性(DLT)
副作用%(Grade3 以上) 好中球減少 85.3(70.6) 貧血 64.7(14.7) 血小板減少 88.2(14.7)
Grade3 に悪化するまでの期間中央値(日) 好中球減少 15 ヘモグロビン減少 22 血小板減少 15
軽快までの期間中央値(日) 好中球減少 7 ヘモグロビン減少 7 血小板減少 7
 - ・脳神経麻痺 J-0107 試験では発現なし、MPACT 試験では 0.2% 多くは顔面神経麻痺
 - ・間質性肺炎 2.9% 発熱、咳嗽、息切れ、呼吸困難などの症状に注意 発現までの中央値は 29 日
 - ・黄斑浮腫 2.9% 視力低下などの症状に注意 発現までの中央値 197 日